

1. 燃焼試験名：鉄道車両燃焼試験（傾斜型、非金属材料）

2. 規格：

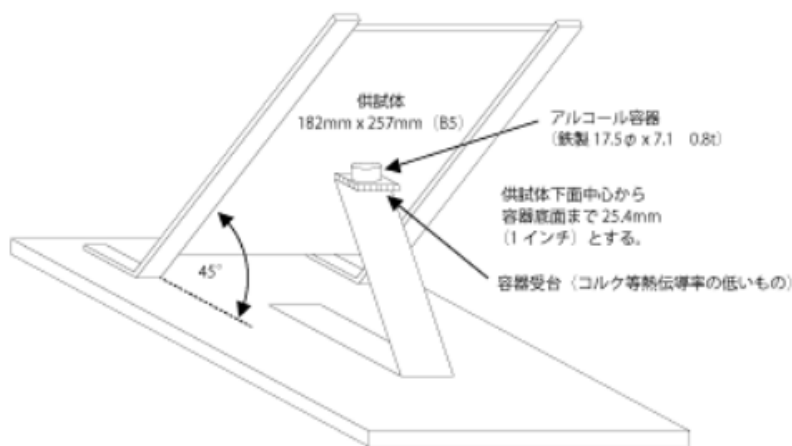
3. 試験体大きさ：182mm×257mm（B5判） 4ピース

養生条件：室内（15~30℃、湿度 60-70%）で床から 1m 離れた状態で
5 日以上養生すること。

4. 火源：エチルアルコール（特定容器）

5. 試験方法：

45 度に傾斜させた装置に試験体をセットして着火源となるアルコール容器（0.8mm 厚×
17.5φ×7.1mm）を下図のような受容体に置き、0.5CC のエチルアルコールを着火させて、
燃え尽きるまで放置し、試験体の展炎性を観測する。



6. 判定基準：

燃焼判定は、アルコールの燃焼中と燃焼後とに分けて、燃焼中は供試材への着火、着
炎、発煙状態、炎の状態等を観察し、燃焼後は、残炎、残じん、炭化、変形状態を調査
する。

7. 関連資料：

社団法人 日本鉄道車両機械技術協会（JRMA）

<http://www.rma.or.jp/exam/index.html>